

(別紙5)

整理番号 2018P-013

補助事業名 平成30年度 自転車競技普及促進及び競技力の向上に資する 補助事業

補助事業者名 公益財団法人 日本自転車競技連盟

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

全国的に、多様な年齢層、性別、初心者レベルから県選手権レベルに至るまで、横断的に自転車競技の普及促進を図り、もって公益の増進に寄与する。

(2) 実施内容

各都道府県車連において、県別選手権、地域別選手権、初心者入門教室、記録会事業を実施。

◆「初心者教室」

兵庫県：初心者教室 (ジュニア自転車競技教室)

平成30年8月12日・10月7日・10月14日

兵庫県立明石公園自転車競技場

参加人数：延べ35名



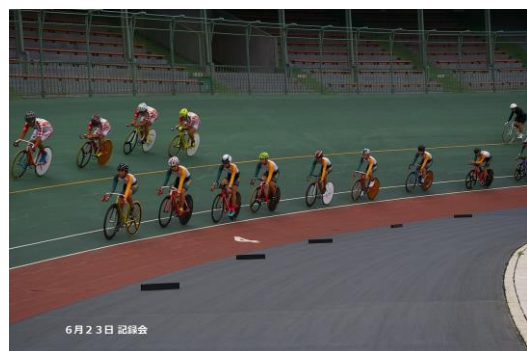
◆「記録会」

大阪府：大阪府自転車競技会 トラック記録会

平成30年6月23日

市営岸和田競輪場

参加人数：71名



(別紙5)

◆「県別選手権大会」

東京都：東京都選手権ロードレース大会

平成30年11月18日

日本サイクルスポーツセンター

参加人数：89名



◆「地区別選手権大会」

滋賀県：近畿地域自転車競技選手権大会

平成30年7月16日（月・祝）

京都・向日町競輪場

参加人数：41名



2 予想される事業実施効果

自転車は環境にやさしいモビリティであるとともに、サイクリング通じた健康づくりや余暇の充実等、人々の行動を広げ、地域とのふれあいや仲間とのつながりを取り持つコミュニケーションツールでもある。本事業を実施することで、安全で快適に自転車を利用できる社会を実現し、自転車の利用が一人ひとりのQOL（Quality of Lifeの略。人生の内容の質や社会的にみた生活の質。どれだけ人間らしい生活を送り、人生に幸福を見出しているか、ということをも尺度として捉える概念。）の向上につながる。

人気がある体験型のイベントである初心者入門教室事業は、普段自転車に乗る機会

(別紙5)

が少ない人などに、乗車の機会を提供し、また安全な乗車方法を啓蒙することで、国民の健康増進及び交通マナーの向上が期待できるとともに、体験者がソーシャルメディアなどを活用することにより、自転車に関する情報が拡散されることが期待できる。

また、記録会や県別選手権等の大会と連携して実施することで、参加者の自転車競技への関心が増し、レジャーから競技への橋渡しの効果が期待できる。

記録会や県別、地域別選手権大会事業は、日々のトレーニングの効果を測定することによる各競技者のモチベーション維持とともに、競い合うことによる技術の向上、経験の蓄積によるトータルスキルの向上が期待でき、高いレベルの競技者層の拡充、全体的な競技力向上が期待できる。

加えて本事業は全国各地でサイクリイベントを実施することで、昨年6月に公表された自転車活用推進計画における目標「サイクルスポーツの振興等による活力ある健康長寿社会の実現」の推進にも寄与するものと思料する。

4 事業内容についての問い合わせ先

団 体 名： 公益財団法人日本自転車競技連盟

(コウエキザイダンホウジンニホンジテンシャキョウギレンメイ)

住 所： 〒141-0021

東京都品川区上大崎3-3-1

代 表 者： 会長 石崎聖子 (イシザキセイコ)

担 当 部 署： 総務部

担 当 者 名： 事務局次長 後藤 慶一郎 (ゴトウ ケイイチロウ)

電 話 番 号： 03-6277-2690

F A X： 03-6277-2691

E - m a i l： goto@jcf.or.jp

U R L： <http://jcf.or.jp/>